

北海道支部

2022年

☆6月25日(土)第196回研究談話会(札幌市立大学・
対面およびZoomによるハイブリッド開催)

題目:「報告『ティム・オブライエンにインタビュー
してきました!』」

発表:野村幸輝(旭川大学)

司会:岡崎 清(札幌学院大学)

*終了後、総会

☆9月23日(金)第197回研究談話会(Zoomによるオ
ンライン開催)

題目:「ランサローテ島とコヒマルの狭間で——
Santiagoに投影された Hemingway の特異な
帰属願望」

発表:本荘忠大(旭川工業高等専門学校)

司会:新関芳生(関西学院大学)

☆11月5日(土)第198回研究談話会(Zoomによるオ
ンライン開催)

題目:「殺す愛——“Desirée’s Baby”におけるレイ
シズム再考」

発表:岡本晃幸(藤女子大学)

司会:松井美穂(札幌市立大学)

☆12月17日(土)第32回日本アメリカ文学会北海道支
部大会(札幌市立大学・対面およびZoomによるハ
イブリッド開催)

特別講演

演題:「エドガー・アラン・ポーの探偵物語と完全
犯罪」

講師:竹内康浩(北海道大学大学院教授)

司会:鎌田禎子(北海道医療大学)

研究発表

題目:「サリンジャーと2者関係」

発表:朴 舜起(北海道大学大学院)

司会:本城誠二(北海学園大学名誉教授)

受賞記念対談

『「謎ときサリンジャー」をめぐって』

竹内康浩 × 朴 舜起

司会:本城誠二

2023年

☆3月18日(土)第199回研究談話会(北海学園大学・
対面およびZoomによるハイブリッド開催)

題目:「資本家としての Adam Verver——*The
Golden Bowl*における結婚と消費」

発表:砂川典子(北海道教育大学釧路校)

司会:斎藤彩世(同志社大学)

☆3月31日『北海道アメリカ文学』第39号発行

【特別寄稿】「エドガー・アラン・ポーの探偵物語
と完全犯罪」 竹内康浩

【投稿論文】「J. D. Salinger とゲーム、死者として
の読者」 朴 舜起

東北支部

2022年

☆4月23日(土)～28日(木) 2022年度総会(メール審議)

☆6月25日(土) 第1回役員会・6月例会(TKP 仙台西口ビジネスセンター)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会と例会はハイブリッド型で実施

研究発表1

土屋陽子(弘前大学)

「Lucy Gayheartにおけるノスタルジア——変化を許されない Lucy が示すもの」

研究発表2

宇津まり子(山形大学)

「ヘゲモニック・マスキュリティで読む『蠅の王』」

2023年

☆3月18日(土) 第2回役員会・3月例会(TKP 仙台西口ビジネスセンター)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため役員会と例会はハイブリッド型で実施

研究発表1

清水菜穂(宮城学院女子大学)

「Black Medeaの系譜」

研究発表2

宮澤文雄(鳥根大学)

「ラフカディオ・ハーンと博覧会」

研究発表3

藤倉ひとみ(順天堂大学)

「賛美と罪意識のはざまに——Gore Vidalの *The City and the Pillar* におけるクィアネスの可視化」

☆3月31日(金) 機関誌発行『東北アメリカ文学研究』第46号

(研究論文3、エッセイ1、書評/映画評5)

☆4月22日(土) 2023年度総会・講演会(TKP 仙台西口ビジネスセンター)

講演

白川恵子(同志社大学)

「アーナ・ボンタンが描く奴隷叛乱——『黒き雷霆』とその周辺」

司会 伊達雅彦(尚美学園大学)

東京支部

2022年

☆4月例会 2022年4月16日(土) 午後2時よりオンライン(Zoom)で開催

特別講演:「『老人と海』の翻訳を巡って」

講師:今村楯夫(東京女子大学名誉教授)

司会:中野学而(中央大学)

★特別講演終了後、支部総会を開催

☆5月例会 2022年5月7日(土) 午後1時30分よりオンライン(Zoom)で開催

研究発表:「家庭から市民社会へ——アンテペラム期アメリカの家庭性とセアラ・ヘイルの小説」

講師:増田久美子(立正大学)

司会:田辺千景(学習院大学)

分科会:

近代散文:「ジョージ・リッパードの都市人種暴動譚における地理的想像力」

細野香里(東京都立大学)

現代散文:「強固な壺と脆いテキスト——Galactic Pot-Healer に見る Philip K. Dick の手工業観と現実観」

岩本遼(慶應義塾大学・院)

詩:「フラヌールとしての後期ミナ・ロイ——サロンの華から街のゴミ拾いへ」

宮本文(専修大学)

演劇・表象:「B. F. スキナーの *Walden Two* における個人主義と教育」

杉本裕代(東京都市大学)

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆6月例会 2022年6月25日(土) 午後1時30分よりオンライン(Zoom)で開催

シンポジウム:「“Each Age a Lens” ——「円周」を拡げるエミリオ・ディキンソン」

司会・講師:吉田要(日本工業大学)

講師:梶原照子(明治大学)

講師:朝比奈緑(慶應義塾大学名誉教授)

分科会:

近代散文:「運ばれる身体——*Pierre; or, the Ambiguities* における舶来品とイザベルの移動」

松丸彩乃(嘉悦大学・非)

現代散文:「ルッキズムをクリップする——Ted Chiang, “Liking What You See: A Documentary” における moral enhancement としての障害」

宮永隆一朗（金沢学院大学）

詩：「William Carlos Williams による短詩における俳句との類似性」

齋藤昌哉（東京女子大学・非）

演劇・表象：「アメリカ文学と演劇——21世紀アメリカ演劇受賞作品における多様性の傾向について」

松本美千代（日本大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆9月例会 2022年9月17日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎522教室

研究発表：「冷戦アメリカを起動する——文化と研究の連携体制」

講師：三添篤郎（流通経済大学）

司会：渡邊真理子（専修大学）

分科会：

近代散文：「“homely narrative”とは何か——“The Black Cat”における家族表象」
高瀬祐子（横浜国立大学）

現代散文：「見るから触るへ——“Good Country People”における義足」
寺沢 恕（一橋大学・院）

詩：「南部モダニズムの「新しい血」——「逃亡者」たちの詩を読む」
倉田麻里（多摩美術大学・非）

演劇・表象：「レッド・ページを書き換える——1960年代映画のパロディの手法について」
久我康介（慶應義塾大学・院）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆11月例会 2022年11月26日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎446教室

研究発表：「ジャパニーズ・トミーと立石斧次郎——ミンストレル・ショウのアフロ・アジア」

講師：大和田俊之（慶應義塾大学）

司会：齊藤弘平（青山学院大学）

分科会：

近代散文：「ヘンリー・ジェイムズのアレゴリー」
松井一馬（中央学院大学）

現代散文：「「愚か」な不幸——*The Assistant* における悲しみの表象」
岩佐頌子（東京大学・院）

詩：「21世紀のアメリカ詩——抒情と政治」
田中裕希（法政大学）

演劇・表象：「ケアするシェパード、ケアされるシェパード——*The One Inside* と *Spy of the First Person*」

矢口裕子（新潟国際情報大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆12月例会 2022年12月10日（土）午後2時より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎516教室

シンポジウム：「作家のキャリア」を研究すること——現在地とこれから」

司会・講師：小島尚人（法政大学）

講師：伊藤淑子（大正大学）

講師：坂根隆広（関西学院大学）

講師：深瀬有希子（実践女子大学）

コメンテーター：折島正司（青山学院大学名誉教授）

2023年

☆1月例会 2023年1月21日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎446教室

研究発表：「アンビエンス／環境詩学を通してブレンドン・ヒルマン、和合亮一、アン・ウォールドマン、C. D.ライトを読む」

講師：高橋綾子（兵庫県立大学）

司会：山中章子（日本工業大学）

分科会：

近代散文：「19世紀アメリカン・スピリチュアリズムと女性解放運動——進歩主義とジェンダーの軌」

稲垣伸一（実践女子大学）

現代散文：「男のいない世界」——*Flags in the Dust* における「母」と「娘」

萱場千秋（立教大学・院）

詩：「冷戦と自然——エリザベス・ビショップの *A Cold Spring* を読む」

金澤淳子（東京理科大学）

演劇・表象：「労働の尊厳を求めて——アメリカ中産階級を再考する」

中川智視（明治大学・非）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆3月例会 2023年3月25日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎435教室

研究発表：「アメリカ文学・文化における危機の感覚と物語のかたち」

講師：ハーン小路恭子（専修大学）

司会：新田啓子（立教大学）

分科会：

近代散文：「ベジタル・セクシュアリティ
——*The House of the Seven Gables* に
おける植物表象」

小椋道晃（明治学院大学）

現代散文：「世界との不調和——芸術家小説とし
ての *Black Boy* (*American Hunger*)」
白木三慶（城西大学・非）

詩：「自然と人間——Sylvia Plath の詩に
おける植物」

田中美和（日本女子大学・非）

演劇・表象：「中期オニール劇の舞台における象徴
性——*The Emperor Jones* を中心に」
大野久美（創価大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

中部支部

2022年

☆6月例会

6月18日（土） オンライン開催

研究発表

1. 赤尾千波（富山大学）／司会：川本 徹（名古屋
市立大学）

「最近のオスカー受賞作品とステレオタイプに
ついて」

2. 大木龍之介（中京大学）／司会：森 有礼（中
京大学）

「わたしの中に瘦せた女なんていない
——Sarai Walker の *Dietland* とメインストリ
ーム・フェミニズムからの脱却」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆9月例会

9月17日（土） オンライン開催

研究発表

1. 平沼公子（愛知教育大学）／司会：社河内友里
（豊橋技術科学大学）

「Unmarketable Black (academic) ness
—— Percival Everett の *Erasure* と「ハイブラ
ウ」なアフリカ系アメリカ文学」

2. 玉井潤野（三重大学）／司会：林日佳理（岐阜
大学）

「家族の呪縛——デヴィッド・フォスター・ウ
ォレス『インフィニット・ジェスト』」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆11月例会

11月19日（土） 中京大学（対面）ならびに Zoom を
併用するハイフレックス形式

研究発表

1. 久保拓也（金沢大学）／司会：香ノ木隆臣（愛
知学院大学）

「オリオン・クレメンズとマーク・トウェイン
——アメリカと「弱き者」の声と」
（オンライン（Zoom））

2. 小原文衛（公立小松大学）／司会：森 有礼（中
京大学）

「ホラー映画と歴史学——ジョージ・A・ロメ
ロ『トリロジー』が語る小文字の歴史」
（対面）

★例会後、運営委員会を開催

☆12月ワークショップ（読書会）

12月10日（土） 中京大学（対面）ならびに Zoom を

併用するハイフレックス形式

テキスト：Edwidge Danticat, *The Dew Breaker*
(2004)

司会・講師：山本 伸（東海学園大学）

講師：杉浦清文（中京大学）

講師：三輪恭子（名古屋短期大学）

★終了後、運営委員会を開催

講師：舌津智之（立教大学）

司会：森 有礼

★研究発表後に総会を開催。

2023年

☆2月例会

2月18日（土）中京大学（対面）ならびに Zoom を併用するハイフレックス形式

研究発表

1. 早川真理子（名古屋大学大学院）／司会：村山瑞穂（愛知県立大学）

「Cynthia Kadohata の *The Floating World* における家のモチーフをめぐる」(対面)

2. 細川美苗（松山大学）／司会：森 有礼（中京大学）

「身体の起源とゴシック性—『フランケンシュタイン』とボオの「使い切った男」」(対面)

★例会前に役員会を開催。

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆第39回支部大会

4月22日（土）中京大学（対面）ならびに Zoom を併用するハイフレックス形式

研究発表

1. 菅井大地（愛知学院大学）／司会：千葉洋平（中京大学）

「清潔さの暴力に抗して—Frank Norris の *Vandover and the Brute* における匂いと病」

2. 杉山和孝（山梨学院大学）／司会：川村亜樹（愛知大学）

「亡霊とエイリアン—「今、ここ」にいない隣人たち：Richard Powers の *Bewilderment*」

シンポジウム

「アメリカ文学を「ファンタジーランド」文学として再読する」

司会・講師：柳沢秀郎（名城大学）

講師：山口善成（金沢大学）

講師：林日佳理（岐阜大学）

講師：朴 珣英（金城学院大学）

特別講演

「ポリアモリーの水脈—ケイト・ショパンからネラ・ラーセンへ」

関西支部

2022年

☆『関西アメリカ文学』第2回編集委員会 7月16日
(土)

Zoomにてオンライン開催

☆7月例会 7月24日(日)

会場 立命館大学

ミニシンポジウム「ヘンリー・ジェイムズ作品における場の感覚」

挨拶 日本ヘンリー・ジェイムズ協会会長 水野尚之(京都大学名誉教授)

司会 石塚則子(同志社大学)

ディスカッサント 難波江仁美(神戸市外国語大学)

講師 竹井智子(京都工芸繊維大学)

「ヘンリー・ジェイムズの“(Non-) Place”の感覚——スイスと“Maud-Evelyn”」

講師 斎藤彩世(同志社大学)

「James と Jewett の「場の感覚」——80年代女医の物語をめぐって」

講師 小島尚人(法政大学)

「「ああ、彼女が南部出身でさえあったら！」——“Pandora”におけるワシントンDCと南部」

★例会前に運営委員会を開催

☆9月例会 9月24日(土)

会場 千里金蘭大学

研究発表

1. 「ロバート・ハスとネイチャー・ライティング」

発表者 高橋綾子(兵庫県立大学)

司会 浅井千晶(千里金蘭大学)

2. 「Mason & Dixon における科学と宗教——Gravity's Rainbow との比較をまじえて」

発表者 石割隆喜(大阪大学)

司会 木原善彦(大阪大学)

★例会前に運営委員会を開催

☆11月例会 11月5日(土)

会場 京都工芸繊維大学

研究発表

1. 「「本業」としての母親——Mia Alvar の "In the Country" におけるグローバルな移動とジェンダー労働」

発表者 松本ユキ(近畿大学)

司会 山本秀行(神戸大学)

2. 「詩の終焉? ——パンデミック時代のエレジーと追悼のかたち」

発表者 古村敏明(神戸女学院大学)

司会 渡邊克昭(大阪大学)

★例会前に運営委員会を開催

☆支部大会 12月3日(土)

会場 武庫川女子大学

フォーラム「インフルエンザ・パンデミックとアメリカ的想像力」

司会 相本資子(関西学院大学・非)

ディスカッサント 大井浩二(関西学院大学名誉教授)

講師 新関芳生(関西学院大学)

「無垢のアメリカ神話の感染的回帰——One of Ours の再評価の試み」

講師 山下 昇(相愛大学名誉教授)

「パンデミック・ナラティブとしての Look Homeward, Angel」

講師 坂根隆広(関西学院大学)

「William Maxwell の They Came Like Swallows における感染・家族・視点」

講師 中 良子(京都産業大学)

「死に至らなかった病——“Pale Horse, Pale Rider”における戦争とインフルエンザ」

☆運営委員会(評議員選挙開票結果確認) 12月25日
(日)

Zoomにてオンライン開催

2023年

☆臨時総会 1月7日(土)

Zoomにてオンライン開催

☆1月例会 1月7日(土)

Zoomにてオンライン開催

若手シンポジウム「「移動」をめぐる文学的想像力」

司会・講師 渡邊真理香(北九州市立大学)

「「コミュニティなんかいない」? ——The View UpStairs におけるクィアな時間移動の考察」

講師 桑原拓也(追手門学院大学)

「Valeria Luiselli, Lost Children Archive における難民の移動と文学的想像力」

講師 古川拓磨(大谷大学)

「Juliet Kono の Anshū: Dark Sorrow に見られる身体の「移動」と精神性の変容」

講師 小南 悠(関西学院大学・非)

「移動と固定の動力学——メルヴィルの「私と私の煙突」を読む」

☆新評議員会 2月4日(土)

Zoomにてオンライン開催

☆新旧役員会 3月11日(土)
Zoomにてオンライン開催

☆運営委員会 4月8日(土)
Zoomにてオンライン開催

☆支部総会 5月6日(土)
会場 近畿大学
講演
講師 水野尚之(神戸女子大学教授・京都大学名誉教授)
演題 「ポーを読むヘンリー・ジェイムズ」
司会 石塚則子(同志社大学教授)

★総会前に運営委員会を開催

☆『関西アメリカ文学』第1回編集委員会 5月13日(土)
Zoomにてオンライン開催

☆6月例会 6月10日(土)
会場 大阪大学
研究発表
1. 「物語の「逃走線」的デザイン——Margaret Atwood, “Impatient Griselda” を貫く反転の力学」
発表者 平川 和(神戸大学)
司会 出口菜摘(京都府立大学)
2. 「縫り合わされたテキスト——Anne Sexton の家族詩における二重螺旋」
発表者 井上詩歩子(神戸市外国語大学)
司会 古村敏明(神戸女学院大学)

★例会前に運営委員会を開催

中・四国支部

2022年

☆『中・四国アメリカ文学研究』第58号発行(6月1日)

☆『中・四国アメリカ文学学会会報』第61号発行(6月1日)

☆中・四国アメリカ文学学会評議委員会
開催日 6月11日(土) オンライン Zoom

☆中・四国アメリカ文学学会第50回大会
開催日 2022年6月11日(土)
会場: オンライン Zoom
研究発表
1. 西光希翔(広島修道大学)
「靴と人形——*A Mercy*における孤児たちのトラウマ」
司会 光森幸子(広島修道大学)
2. 上杉裕子(叡啓大学)
「詩人 Sylvia Plath の作品に表れる普遍的ジェンダー観を探って——詩劇“Three Women: A Poem for Three Voices”を中心に」
司会 風早由佳(岡山県立大学)
3. 重迫和美(比治山大学)
「虚構世界の現実らしさを描出する語りの技法——William Faulkner の *Absalom, Absalom!* と三島由紀夫の『春の雪』の比較考察」
司会 大地真介(広島大学)
シンポジウム「トランスエスニック・ネットワークが結ぶ「アメリカ」/「アメリカ文学」
司会 中村善雄(京都女子大学)
1. 講師 大島由起子(福岡大学)
「メルヴィルにとっての理想の男性——『ホワイト・ジャケット』に見るペルーの民との連携」
2. 講師 山口善成(金沢大学)
「タヒチのアメリカ人——ヘンリー・アダムズ『アライ・タイマイの回顧録』における少数民族への同一化と郷愁」
3. 講師 森 瑞樹(広島経済大学)
「見えないもつれた結び目から——キアラ・アレグリア・ヒューディーズのつながりへの眼差し」
4. 講師 中村善雄
「ブラック/ジュエーイッシュ・克蘭ズマンの連携と攪乱——スパイク・リーの「ジョイント」的戦略」

特別講演

講師 尾崎俊介氏（愛知教育大学）
 演題 「大橋吉之輔先生とわたし」
 司会 前田一平（鳴門教育大学）

☆ Newsletter 第103号発行（11月1日）

☆支部運営委員会

開催日 12月3日（土）
 場所 広島修道大学

☆冬季大会

開催日 12月3日（土）
 場所 広島修道大学

- 岸野英美（近畿大学）
 「三峽地域における強制移住の問題と環境意識の芽生え
 ——Rita Wong の作品を読む」
- 塩田 弘（広島修道大学）
 「スマートフォン、ドローンが変える小説の「語り」
 ——Moshin Hamid, *Exit West* を中心に」
 司会 松永京子（広島大学）
- 光森幸子（広島修道大学）
 カラリズムに抵抗するハーストン
 ——戯曲『ポーカ・カウンティ』における三種の黒人女性表象から
 司会 西光希翔（広島修道大学）

2023年

☆第1回支部編集委員会（論文審査、59号編集スケジュールの確認）

日時：2023年2月15日 オンライン会議

☆第2回支部編集委員会（論文審査、投稿規定の見直し）

日時：2023年3月23日 オンライン会議

☆第3回支部編集委員会（論文審査、新人優秀論文賞審査、投稿規定の見直し）

日時：2023年4月11日 オンライン会議

九州支部

2022年

☆9月例会

オンライン会議

研究発表

ダン・グレゴリー（宮崎国際大学）

“The Quiet Accomplishment of Cid Corman”

司会：藤野功一（西南学院大学）

ワークショップ（科研費共同研究キックオフ）

「19世紀アメリカにおける可傷性の文学的表象」

司会・発表者 生田和也（長崎外国語大学）

発表者 高橋愛（岩手大学）

発表者 小宮山真美子（国立長野高専）

討論者 竹内勝徳（鹿児島大学）

☆日本英文学会第75回九州支部大会（アメリカ文学部門）

10月22日（土）—23日（日）

場所：西南学院大学

招待発表 坂井 隆（福岡大学）

「[ブランチは女です。まず、女を舞台に出して

ください]—*A Streetcar Named Desire* 日本初演

における杉村春子のジェンダー・パフォーマンス」

司会：竹内勝徳（鹿児島大学）

研究発表1 山口沙瑛（九州大学・院）

「Truman Capote, *Other Voices, Other Rooms* における境界線の解体—規範と分類の曖昧性」

司会：大園 弘（九州国際大学）

シンポジウム「戦争に周縁はあるのか？」

司会・講師 高野泰志（九州大学）

講師 永川とも子（九州大学）

講師 田吹香子（福岡県立大学）

講師 山本洋平（明治大学）

研究発表2 山本幹樹（九州ルーテル学院大学）

「演じる人々—Louisa May Alcott & Anna Bronson Alcott Pratt の戯曲 *Comic Tragedies* における自由への渴望」

司会：青井 格（近畿大学）

発表3 新名主優子（九州大学大学・院）

「彷徨えるユダヤ人としてのポール・オースター—自伝的二人称小説として読む『内面からの報告書』『冬の日誌』」

司会：小林正臣（琉球大学）

☆12月例会

研究発表1 前屋敷太郎（九州共立大学）

「[人間のプラグマティズム] vs. [サタンプラグマティズム]—マーク・トウェインの *No. 44*,

The Mysterious Stranger を中心に」

司会：江頭理江（福岡教育大学）

研究発表2 松田卓也（九州工業大学）

「^{リミナル}境界的な存在としての少女—Sandra Cisneros

The House on Mango Street」

司会：永尾 悟（熊本大学）

研究発表3 坂井 隆（福岡大学）

「新派、女形、ヒステリアー『欲望という名の電車』日本初演と杉村春子のブランチ」

司会：鈴木一生（九州工業大学）

2023年

☆役員会

3月4日（土）オンライン会議

☆九州アメリカ文学会第68回大会

5月13日（土）—14日（日）

場所：鹿児島大学

研究発表 高橋 勤（九州大学・名）

「テロと暴動—アメリカロマン主義と革命思想」

司会：江頭理江（福岡教育大学）

研究発表 大宅由加利（福岡大学・院）

「*Ceremony*における自然とのつながりの認識—冷たい風とつながる Tayo」

司会：長岡真吾（福岡女子大学）

研究発表 小林朋子（鹿児島県立短期大学）

「アフェクト経済のネットワークを創出する—『タール・ベイビー』におけるホームとしての身体」

司会：吉田希依（熊本県立大学）

研究発表 鈴木一生（九州工業大学）

「Herman Melville と反知性主義」

司会：大島由起子（福岡大学）

特別講演 成田雅彦（専修大学）

「旧牧師館と消された人々の記憶について—ホーションと人種問題を考える」

司会：高橋 勤（九州大学・名）

シンポジウム「デジタル・ヒューマニティと物語の交点」

司会・講師 岡本太助（大阪大学）

講師 矢倉喬士（大阪大学）

講師 森 瑞樹（広島経済大学）

講師 長崎励朗（桃山学院大学）